

◆◆◆ “東日本大震災” に対する宇陀市の対応 【第 4 7 報】 ◆◆◆ (所管：危機管理課)

7 月 2 8 日 岩手県内から宇陀市へ 1 世帯 1 名の避難受入れが確定しました。避難される方は 8 月に市内の市営住宅へ入られますので、奈良県が準備している生活支援用品の受け取りと市営住宅への設置を実施しました。(所管：危機管理課・厚生保護課)

◆◆◆ 本日のニュース ◆◆◆ (所管：危機管理課)

7 月 2 7 日 国の暫定基準値を超える放射性セシウムを含む稲ワラを飼料として与えられていた牛の 1 0 3 1 頭(宮城県)が出荷された件で、奈良県内の食肉処理業者から県担当部局に、そのうちの肉の一部(9.5kg)を仕入れたとの申し出が 7 月 2 6 日にあったようです。

県は、販売前で全量が残置されていたため、管轄の保健所は直ちに当該業者に留め置きを指示するとともにサンプルを採取して、県の保健環境研究センターにて放射性物質検査を実施した。検査結果は下記のとおり、暫定規制値より大幅に下回ったため、留め置きを解除したと報道発表(第 8 報)しました。

⇒ 固体識別番号：0362-94222

⇒ 試料採取場所：食肉処理業者

⇒ 検出結果：放射性ヨウ素 = 不検出

放射性セシウム = 16 ベクレル/kg (暫定規制値 = 500 ベクレル/kg)

※暫定規制値レベルの放射性セシウムが検出された牛肉を 1kg 食べたとしても、人体への影響は、通常 1 年間で自然に食品等から摂取される放射性物質からの影響の 50 分の 1 であり(出典：厚生労働省薬事・食品衛生審議会(H23.7.12 開催)資料)、当該牛肉を数回食べたとしても健康に影響が出るとは考えられないようです。

奈良県は公式ホームページにおいて、7 月 1 9 日から放射性物質を含む稲ワラを飼料として与えられていた牛肉の県内流通状況について、県民の皆様にお知らせしていますのでご確認ください。

◆◆◆ 定時降下物や上水における放射性物質について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

6 月 2 9 日 県は、3 月 2 3 日からおこなっている浄水の放射性物質の分析調査を、奈良県公式ホームページで公表しています。現在まで県内の浄水場及び一般家庭蛇口などで採取した試料からは放射性ヨウ素 131、放射性セシウム 137 ともに検出されて

いません。

宇陀市水道局蛇口で4月8日に採取した試料の分析結果は以下のとおりです。

⇒ 放射性物質：ヨウ素131            検出せず  
                  セシウム137        検出せず

◆◆◆ 宇陀市の義援金報告（累計額） ◆◆◆ （所管：厚生保護課）

総額22,874,838円（個人・団体：21,880,742円、義援金箱：994,096円）

※平成23年3月14日～7月22日まで

ご支援・ご協力、ありがとうございます。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の民間物資の受入状況について ◆◆◆ （所管：危機管理課）

※県の救援物資の受入れは、4月11日から停止しています。

新たな動きがあれば、その時点でお知らせします。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の住宅提供状況について ◆◆◆ （所管：危機管理課）

奈良県の東北地方太平洋沖地震にかかる住宅提供状況及び入居状況は下記のとおりです。

⇒ 県営住宅：入居可能予定戸数100戸                    内) 入居決定19戸（入居人数：51人）  
⇒ 市町村営住宅：入居可能予定戸数62戸                内) 入居決定 5戸（入居人数：15人）  
⇒ 公的(UＲ)賃貸住宅：入居可能予定数80戸            内) 入居決定 3戸（入居人数： 6人）

⇒ 公的（雇用促進）住宅：入居可能予定数58戸（内）入居決定 1戸（入居人数： 3人）

平成23年7月25日 16:00現在

**※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。併せてご了承下さい。**